

折に触れ 四字熟語

NO. 276 『粉骨砕身』 ふんこつ さいしん

< 意味 > 力の限り努力すること。また、骨身を惜しまず一生懸命に働くこと。骨を粉にし、身を砕くほど努力する意から。「砕身粉骨」ともいう。

< 出典 > 『^{かくしょうぎよくでん}霍小玉伝』

表 言 : 粉骨砕身して世のために尽くす

用 例 : 疲弊はしている。が、しかし、一旦軍名下れば粉骨砕身するものである。

<子母沢寛・勝海舟>

一 言 : 秋から冬にかけてはラグビーのシーズンです。先日大学ラグビーをテレビで観戦していたらある大学の応援席にこの四字熟語の横断幕が見えました。ラグビーはご存じの通り激しく、骨折などケガが絶えないスポーツです。ですから粉骨も砕身もリアルすぎてちょっと違和感を覚えました。が、ま、力の限り頑張ろうということなのでしょう。

参照文献 : 岩波書店「四字熟語辞典」